

病院名 埼玉県立がんセンター  
都道府県名 埼玉県

## 都道府県の情報

埼玉県内の総人口	<b>7,344,412</b> 人 (2021/8/1)
がん死亡者数	約 <b>19,000</b> 人 (2016年)
がん死亡者割合	約 <b>3</b> 割
高齢化率	<b>24.8%</b>



埼玉県立がんセンター



## 埼玉県内のがん患者の状況 罹患数

男性				女性		
順位	がん種	罹患者数 (件)	罹患率 (%)	がん種	罹患者数 (件)	罹患率 (%)
1	胃	4,189	17.3	乳房	3,612	22.4
2	大腸	3,945	16.3	大腸	2,669	16.5
3	前立腺	3,715	15.4	胃	1,740	10.8
4	肺	3,574	14.8	肺	1,498	9.3

病院名 埼玉県立がんセンター  
都道府県名 埼玉県

## 埼玉県内のがん患者の状況 死亡数 (2019)

男性				女性		
順位	がん種	死亡数 (人口10万対)	順位(全国)	がん種	死亡数 (人口10万対)	順位(全国)
1	肺	18.2	13	乳房	11.0	26
2	大腸	12.9	30	大腸	7.4	27
3	胃	10.2	17	肺	5.6	27
4	膵	8.0	13	膵	5.5	27

病院名 埼玉県立がんセンター  
都道府県名 埼玉県

## がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院（国指定） 1施設  
埼玉県立がんセンター 503床

地域がん診療連携拠点病院（国指定/高度型） 2施設  
埼玉医科大学国際医療センター 700床  
埼玉医科大学総合医療センター 1050床

地域がん診療連携拠点病院（国指定） 11施設

上尾中央総合病院	733床	
川口市立医療センター	539床	
済生会川口総合病院	424床	
戸田中央総合病院	517床	
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院		550床
春日部市立医療センター	363床	
獨協医科大学埼玉医療センター	928床	
さいたま赤十字病院	638床	
さいたま市立病院	637床	
自治医科大学附属さいたま医療センター		628床
深谷赤十字病院	474床	

病院名 埼玉県立がんセンター  
都道府県名 埼玉県

## がん診療連携拠点病院の情報

地域がん診療連携拠点病院（県指定） 12施設

埼玉協同病院 399床

TMGあさか医療センター 446床

秀和総合病院 350床

越谷市立病院 481床

埼玉メディカルセンター 395床

彩の国東大宮メディカルセンター 337床

さいたま市民医療センター 340床

小川赤十字病院 302床

埼玉石心会病院 450床

防衛医科大学学校病院 641床

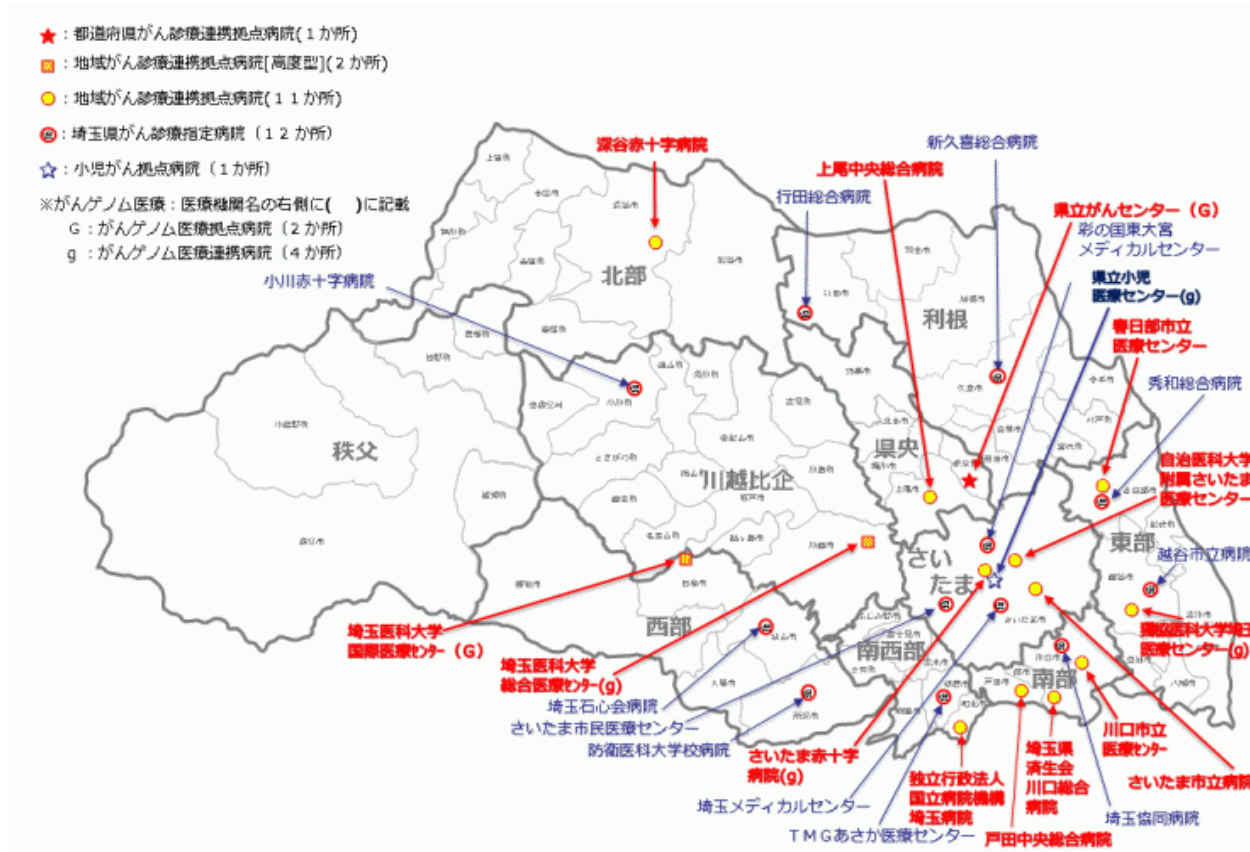
行田総合病院 504床

新久喜総合病院 336床

小児がん拠点病院（国指定） 1施設

埼玉県立小児医療センター 316床

# がん診療病院の情報



## 都道府県におけるがん医療の特性

- ・人口が中央、県南に集中している
- ・がん拠点病院が中央、県南に集中している
- ・県内のがん医療に携わる専門医や専門職は、関東の一都六県と比較して少ない

がん関係専門医

平成29年(2017年)10月調べ

名称	認定学会等	埼玉県	東京都	神奈川県	千葉県	栃木県	群馬県	茨城県	全国
がん治療認定医	一般社団法人 日本がん治療認定医機構	502	2,274	1006	579	209	236	233	15,572
がん治療認定医 (歯科口腔外科)	一般社団法人 日本がん治療認定医機構	7	46	29	18	12	4	7	427
がん薬物療法専門医	公益社団法人 日本臨床腫瘍学会	28	189	66	44	7	13	8	1190
指導医	公益社団法人 日本臨床腫瘍学会	13	81	30	22	3	7	3	564
専門医	特定非営利活動法人 日本緩和医療学会	4	34	8	11	1	4	4	178
暫定指導医	特定非営利活動法人 日本緩和医療学会	19	81	34	25	5	11	9	544

## 都道府県におけるがん医療の特性

・市町村が実施しているがん検診の受診率は、胃がん・肺がん・子宮がんについては、全国平均に比べて低い

市町村が実施するがん検診受診率

単位：%

年度	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん		乳がん	
	全国	埼玉	全国	埼玉	全国	埼玉	全国	埼玉	全国	埼玉
平成27年度	6.3	4.1	11.2	10.1	13.8	13.9	23.3	20.2	20.0	22.1

資料：地域保健・健康増進事業報告



# 都道府県がん診療連携拠点病院(国指定)、 埼玉県がん診療指定病院(県指定)、 小児がん拠点病院へ“事前アンケート”を実施

令和3年8月11日

**がん薬物療法に関する調査のご協力をお願い**

この度、埼玉県立がんセンターでは、県内のがん薬物療法の質向上を日課し、多職種で参加できる研修会を開催したいと考えています。  
お忙しいところ恐れますが、下記のアンケートにご協力いただけますと幸いです。

**ご施設について**  
 地域がん診療連携拠点病院  埼玉県がん診療指定病院  小児がん拠点病院

**医療圏について**  
 さいたま  県央  北埼玉  利根  東埼玉  南埼玉  西埼玉  川越北会

**病床数について**  
 200床以下  201～400床  401～600床  601～800床  801～1000床  
 1001床以上

**緩和ケアセンター（外来化学療法を推進するための診療室）について**  
ベッド/椅子数  
 10床以下  11～20床  21～30床  31～40床  41～50床  51床以上

施設における外来化学療法施行数について（1週間あたり）  
 25例以下、 26～50例、 51～100例、 101～200例、 201～400例、 401例以上  
利用する診療科（多い順に最大4つお書きください）  
(1) \_\_\_\_\_ ) (2) \_\_\_\_\_ )  
(3) \_\_\_\_\_ ) (4) \_\_\_\_\_ )

**がん薬物療法導入時の体制について**  
担当化学療法導入時は  
 医師入院、 医師から外来導入可能、 ほぼ毎日入院  
レジメンによる  
(1) 医師が取り決めがあればお書きください )

**化学療法導入時に関わる職種について**  
 ほとんどが専任で関わる：医師、看護師、薬剤師、栄養士、MSW、リハビリ、その他か  
 一部の専任で関わる：医師、看護師、薬剤師、栄養士、MSW、リハビリ、その他か

**貴施設における医療ソーシャルワーカー（MSW）の在籍人数** ( ) 人

- 1 -

**Q.貴施設におけるがん薬物療法の現状について御自由にお書きください。**

**Q.貴施設における医師・看護師・薬剤師・MSWなどの多職種連携の現状について御自由にお書きください。**

**Q.ご記入内容の研修会が貴院の緩和ケア充実に関与しつと変わりますか？御自由にお書きください。**

アンケートは以上です。

いただきました御意見をもとに多職種研修会のテーマを検討してまいります。  
また、上記の以外には一応使用いたしません。  
御協力いただき、誠にありがとうございます。

埼玉県立がんセンター  
緩和ケアセンター 部長 嶋田 謙子  
医師 武井 大輔  
看護師 古川 麻美  
社会福祉士 植田 由子

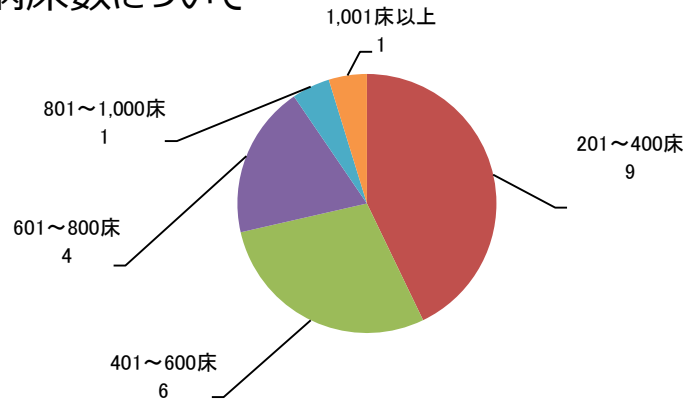
- 2 -

回収率: 21/26 (80%)

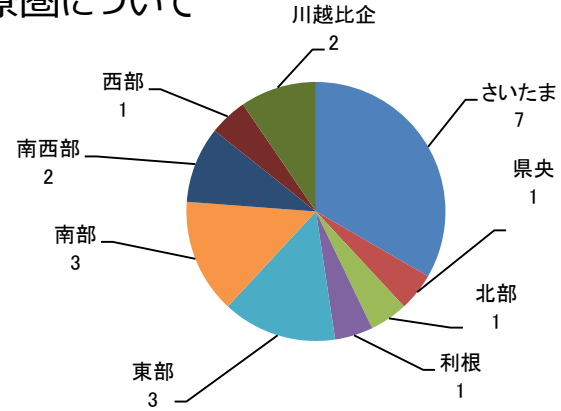
そこから拳がってきた埼玉県の  
がん化学療法の現状と  
課題を抽出

# 事前アンケート結果

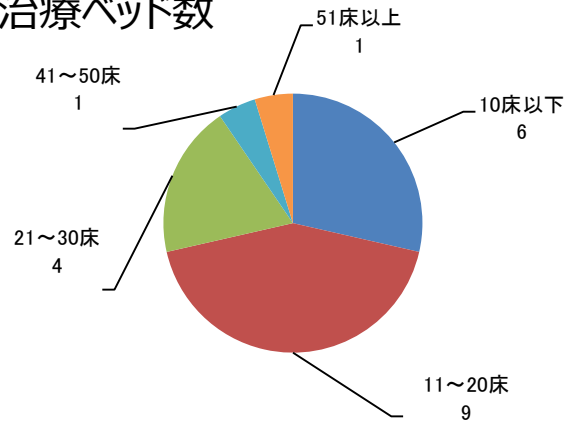
## 病床数について



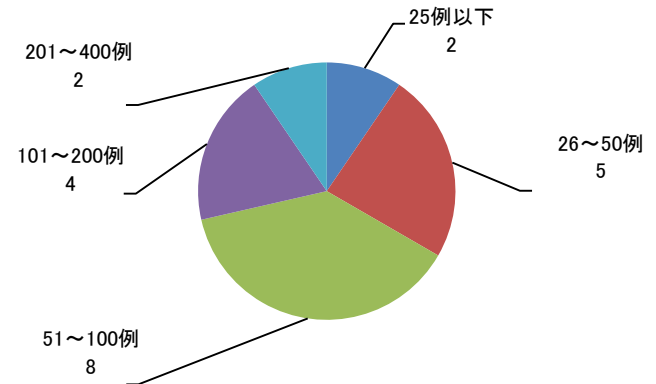
## 医療圏について



## 通院治療ベッド数

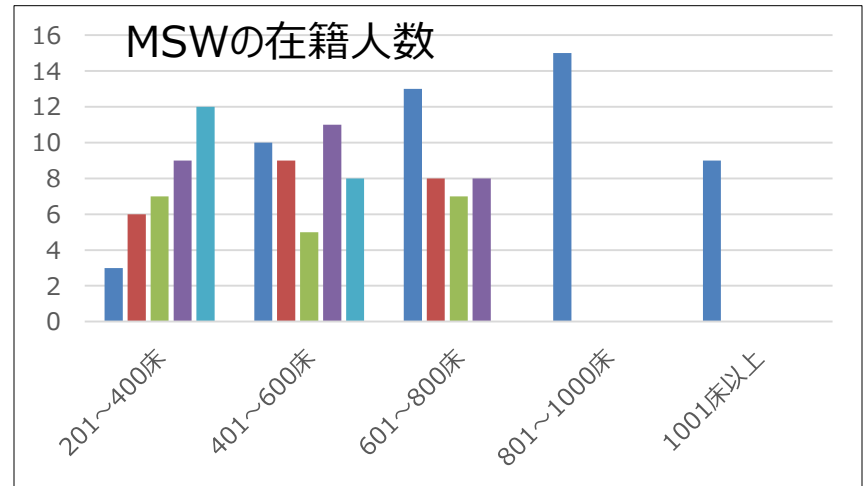
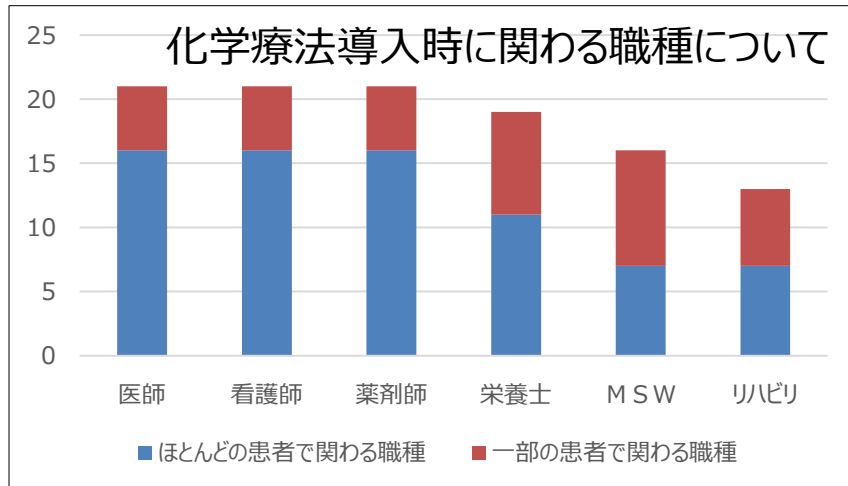
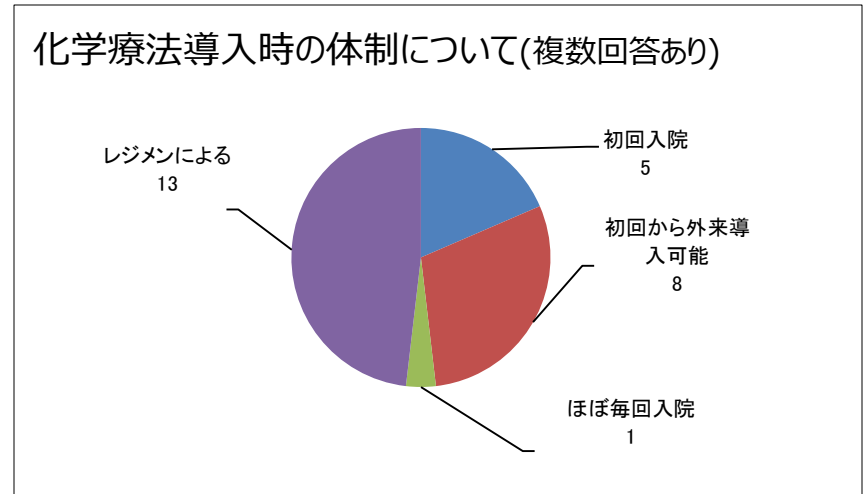
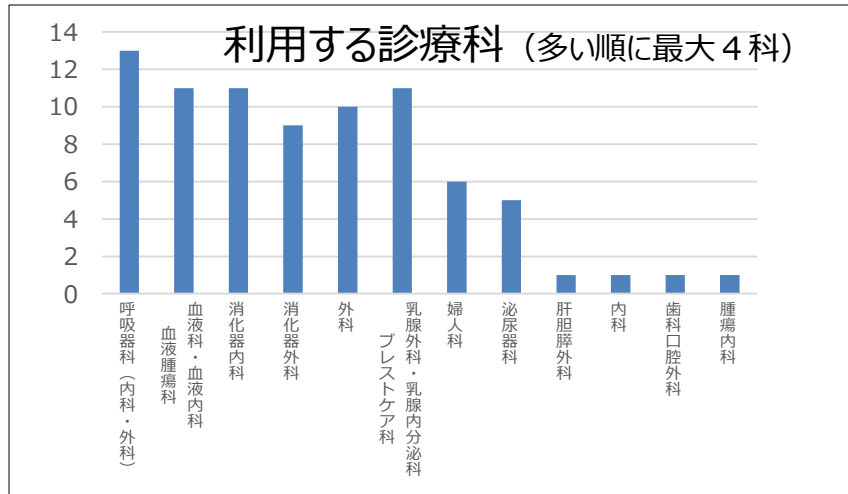


## 外来化学療法施行数



病院名 埼玉県立がんセンター  
都道府県名 埼玉県

# 事前アンケート結果



都道府県名

## 都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

### 【現状】

- ・他施設と現場レベルで情報共有する場がない
- ・施設内での他職種と情報共有する場がない
- ・がん化学療法に対して、施設間のばらつきがある
- ・がん化学療法に対して、医療圏ごとのばらつきがある
- ・次世代への教育、マンパワーが不足している

### 【課題】

- ・多職種で関われない、関わったとしても情報共有の場がない
- ・地域差をなくす必要がある
- ・マンパワー不足
- ・次世代への教育の充実

## 研修会のニーズ

### 【アンケートからの抜粋】

- ・多職種連携の実際や事例検討会
- ・各職種の具体的な関わりについて
- ・がん薬物療法時の副作用対策や緊急対応について
- ・最新のレジメンについて
- ・がん診療の病診連携、薬薬連携について
- ・チームビルディング研修
- ・若手育成

など

# 研修の概要

## 【タイトル】

がん化学療法を症例から学ぶ ～大腸癌患者の多職種支援～ WEB研修

## 【目的】

事例を用いて各職種の関わり方や必要な情報を把握する

## 【対象者・人数】

がん診療連携拠点・指定病院のがん化学療法に携わる医師・看護師・薬剤師・MSW他（栄養士・リハビリスタッフ）

## 【目標】

### 一般目標（GIO）

がん患者を通して、各職種の関わり方を理解し、多職種と連携する。

---

### 到達目標（SBO）

がん患者における多職種の関わり方を理解できる。

がん患者における各問題点を多職種の視点から抽出できる。

がん患者における各問題点を多職種で共有できる。

がん患者における問題点を多職種とディスカッションできる。

# 大腸癌の患者像（60代前半）

- 就労
- 医療費
- ストマ＝手帳
- インフューザーポンプの使用＝訪問看護
- 物品
- 傷病手当金
- 障害年金
- 介護保険の利用ができるか

# 大腸癌（高齢者）

- 老老介護
- 在宅IVH = 物品
- 医療費
- ストマ = 手帳
- インフューザーポンプ = 訪問看護への依頼
- 介護保険
- WOCへの依頼



# プログラム

開始	終了	時間	研修方法	内容
12 : 30	13 : 00	30	受付	
13 : 00	13 : 10	10	挨拶 オリエンテーション	研修会の意図・目的説明 プログラムの説明
13 : 10	13 : 20	10	症例提示	患者概要・背景
13 : 20	13 : 50	30	講義 (Dr)	薬物療法・ガイドライン
13 : 50	14 : 20	30	講義 (Ph)	個々のレジメン内容/副作用対策
14 : 20	14 : 30	10	休憩	ブレイクアウトルーム
14 : 30	15 : 00	30	講義 (Ns)	治療中の看護/インフューザー抜針 ストマ管理
15 : 00	15 : 30	30	講義 (栄養士)	栄養/食事 等
15 : 30	16 : 00	30	講義 (MSW)	医療費・社会資源など
16 : 00	16 : 10	10	休憩	ブレイクアウトルーム
16 : 10	16 : 30	20	質疑応答	全体を通してのディスカッション 質疑応答
16 : 30	16 : 40	10	まとめ 挨拶	

# 研修の評価

---

## 【実施評価】

事前アンケート（研修前の知識と行動の確認）を実施する

事後アンケート（研修後の知識の確認）を実施する

3ヶ月後アンケート（研修後の知識と行動の確認）を実施する

## 【結果評価】

研修前後の変化（知識の評価）

研修3ヶ月後の変化（知識・行動の評価）

## 【企画評価】

課題抽出は適切だったか

目標設定はニーズに合っていたか

対象の選定、プログラム構成、実施時期、実施時間、周知方法は適切だったか

受講者の満足度

---

セッションの詳細は時間があるよう  
でしたら作成ください

# 受付

日時	○月 ○日 (○)	12 : 30~13 : 00
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	○○	
用意するもの	パソコン、プロジェクター、参加者名簿、参加者緊急連絡先、当日留意点	

## 【学習目標】

## 【事前準備】

参加者名簿作成、参加者緊急連絡先の確認

## 【会場準備】

パソコン、プロジェクターの設定

## 【すすめ方】

ホストが順に受付を許可する

## 【セッションでの留意点】

参加者の接続、音声確認を行う。ビデオをonにする。

# 挨拶・オリエンテーション

日時	○月 ○日 (○)	13:00~13:10
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	病院長、○○	
用意するもの	パソコン	

## 【学習目標】

研修の意図・目的を理解できる。

## 【事前準備】

留意点のスライド作成

## 【会場準備】

## 【すすめ方】

病院長の挨拶を行い、本研修の意図・目的、プログラムを説明する。

## 【セッションでの留意点】

喋らない人はミュートにする。病院長へ切り替えるタイミング

# 症例提示

日時	○月 ○日 (○)	13 : 10~13 : 20
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	○○	
用意するもの	パソコン	

## 【学習目標】

患者の背景を理解できる

## 【事前準備】

症例の準備、症例のスライド作成

## 【会場準備】

## 【すすめ方】

## 【セッションでの留意点】

# セッション1 薬物療法・ガイドライン

日時	○月 ○日 (○)	13:20~13:50
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	医師	
用意するもの	パソコン	

## 【学習目標】

大腸がんの薬物療法の流れを理解できる

## 【事前準備】

講義資料

## 【会場準備】

## 【すすめ方】

## 【セッションでの留意点】

# セッション2 薬剤師から見た レジメン・副作用対策

日時	○月 ○日 (○)	13:50~14:20
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	薬剤師	
用意するもの	パソコン	

## 【学習目標】

大腸がんで使用されるレジメンについて理解できる  
大腸がんで使用されるレジメンの副作用対策が理解できる  
症例における薬剤師的視点の問題抽出を理解できる

## 【事前準備】

講義資料

## 【会場準備】

## 【すすめ方】

## 【セッションでの留意点】

レジメン、支持療法薬の説明だけでなく、この症例のける薬剤師的視点での問題点を提示する。





# セッション3 看護師から見た治療中の看護 インフューザー抜針／ストマの管理

日時	○月 ○日 (○)	14 : 30～15 : 00
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	看護師	
用意するもの	パソコン	

## 【学習目標】

大腸がん患者の治療中の問題点を理解できる

大腸がん患者のインフューザー抜針/ストマの管理の問題点を理解できる

## 【事前準備】

講義資料

## 【会場準備】

## 【すすめ方】

## 【セッションでの留意点】

この症例の患者背景から見えてくる問題を看護師的視点での問題点を提示する。

# セッション4 栄養士から見た治療中の食事

日時	○月 ○日 (○)	15:00~15:30
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	栄養士	
用意するもの	パソコン	

## 【学習目標】

大腸がん患者の治療中の食事・栄養の問題点を理解できる  
大腸がん患者の抱える食事や栄養の不安について理解できる

## 【事前準備】

講義資料

## 【会場準備】

## 【すすめ方】

## 【セッションでの留意点】

この症例の患者背景から見えてくる問題を栄養士的視点での問題点を提示する。

# セッション5 MSWから見た治療中の 医療費・社会資源

日時	○月 ○日 (○)	15:30~16:00
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	MSW	
用意するもの	パソコン	

## 【学習目標】

がん患者の医療費・社会的資源を理解できる

大腸がん患者の医療費・社会的資源の問題点を理解できる

## 【事前準備】

講義資料

## 【会場準備】

## 【すすめ方】

## 【セッションでの留意点】

この症例の患者背景から見えてくる問題をMSW的視点での問題点を提示する。





# まとめ・挨拶

日時	○月 ○日 (○)	16 : 30~16 : 40
場所	Web	
セッティング	Zoom	
担当	○○	
用意するもの	パソコン	

## 【学習目標】

## 【事前準備】

## 【会場準備】

## 【すすめ方】

## 【セッションでの留意点】